



2023年10月2日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 10月号

聖心で160年たっても、
 223年たっても変わらないもの 校長 Sr.大山 江理子



ようやく秋を感じる頃になりました。児童が外で活動しても、気持ちのよい気候です。これから後期も迎えます。落ち着いて、ものごとに取り組みたいものです。

聖心姉妹校では、この秋に喜ばしいことが続きます。今年小林聖心が学校創立100周年を、聖心女子大学が創立75周年を迎えることになり、それぞれ11月に式典を予定しています。聖心の教育が関西の地で、また戦後の最初の新制大学の一つの女子大学として、これまで発展してきました。この年月には社会も世界も変化し、教育に求められるものも変化して来ましたが、聖心の教育は時代にふさわしい変容の力と、時代を超えて変わらない大事なものを掴む力との双方を兼ね備えているものです。

児童・生徒にはすでに紹介した「聖心の生活」という古い小さな本があります。これは聖心の創立から160年を迎えたときに書かれたもので、世界の聖心として大切にしたいことがらとまとめられています。創立から160年というと、1960年代にあたります。この時期には第二次世界大戦後の世界が少しずつ安定し、工業化や経済発展の動きの中で、新たな世界秩序が作られていくという、大きな変化が生じていたのではないのでしょうか。カトリック教会も第2バチカン公会議という教会の変革の時期を過ごしていました。聖心会も修道会としても大きく変化したときで、それまで聖マグダレナ・ソフィアの伝統を目に見える形として大切に受け継いできましたが、これ以降、より時代に合わせて機能的に変化することを目指していきました。その大変化の中で、「聖心の生活」は聖心として大切にしたいことがらを確認するものです。以下に、今の言葉に置き換えながらご紹介します。

まず、第一に、聖心は一つの家庭であることがあげられています。イエスを中心として、児童・生徒、シスター、先生たちが家族のようによい関わりをもって一つの共同体を作ることをめざします。そして、イエスの教えを学び、祈り、各自が内面性を深めること。自制心、今の言葉で言えば自己コントロールを学ぶことも重要とされています。学校で共に祈る経験をすることも重視されています。

学習については、「人に頼らず、自分でものを考える能力を養う」ことに重点がおかれています。そして、相互の進歩も大切に、関わりながら学ぶことを目指し、お互いが学べる環境作りのために、規律や沈黙を守ることも大切とされています。

人格の養成は言うまでもなく、責任ある態度で人と関わるための誠実な姿勢、礼儀、安易に流されない勇気の重要性もあげられています。学校は一つの共同体であり、社会でもあり、学校生活で養われたものをもって、外の社会、世界でイエスのみこころを体現し、活動することを目指すとあります。

この本はこの春にソフィア修道院の片づけで見つかりました。初めに手にしたときは、言葉遣いの古めかしさに圧倒されてしまいましたが、じっくり読んでみると、今から60年前の聖心が伝統を再確認した意志が伝わってきます。創立から223年経った今の私たちも、聖心の価値を大切に現代のコンテクストの中で実現していきたいと考えています。



聖心の古いロゴ
 Sacre Coeur de Jesu

共感すること

教頭 吉岡真左美

7月下旬には4年生、9月初めには6年生の校外学習があり、先日は1～3年生の遠足がありました。学校を出てみんなで一緒に生活をしたり学習をしたりすることは、子どもたちにとってワクワクする素敵な時間です。当日の朝、皆明るい笑顔で出発していきました。



【4年校外学習】

私は、4年生の校外学習と1～3年生の遠足に同行しました。校外学習では、1日目に姉妹校の不二聖心に行き、聖堂でお祈りをしたり広い構内を散策したりしました。アーカイブ室も見学させていただき、3年生で学習した聖心の歴史を思い返したり、東京の聖心と似ているところを見つけたりしました。シスター大山に献呈された不二聖心のテディベアを児童が見つけた時は、みんなで感激して拝見しました。

聖心を築いてくださったシスター方のお墓の前でお祈りもしました。聖心の歴史が今の私たちにつながっていると感じる時間になりました。聖心の歴史という「縦のつながり」と、同じ聖心である姉妹校の「横のつながり」の中に私たちがいる…私たち一人ひとりが聖心の家族の一員であることを共感する時間になったと思います。



【1～3年遠足】

1～3年生の遠足では、3年生がそれぞれリーダーシップを発揮して、安全に楽しく過ごせるように計画と準備を進めていました。そのためには、1、2年生の立場になって考えることが大切です。一緒に歩くときのペース配分や、園内で行う「動物クイズ」の内容などを考えるとき、3年生は1、2年生の気持ちになって（共感して）考えたと思います。

他者と一緒に考えたり、共感し合ったことは、心に刻まれる素敵な思い出や大切な経験になっていきます。大人になっても覚えていて、自分の支えになることもあります。そのような素敵な機会を、これからも子どもたちと一緒に共有、共感していきたいと思います。



【6年校外学習】

そして、共感する気持ちや姿勢は、イエス様が私たちに示してくださった姿勢につながると 생각합니다。社会に出たときに、他者を思い、寄り添い、自分ができることを考え実行していく力になっていきます。学校生活の中でも様々な経験や共感ができるように、共に頑張ってください。

10月の予定

- | | |
|--|---|
| 1日(日) 都民の日 | 11日(水) 学級委員選挙 |
| 2日(月) 1年・転入・編入生保護者会
面談日② 午前授業 | 12日(木) 1st English Day (4限)
学級委員任命式 |
| 3日(火) 面談日③ 午前授業
金曜時間割 | 16日(月) 児童会役員立ち会い演説会 (4限)
6年保護者会 (15:30～) |
| 4日(水) 午前授業 | 17日(火) 児童会役員任命式 |
| 5日(木) 前期終業式 | 18日(火) 2nd 感ずべき御母の祝日行事
3年社会科見学 |
| 6日(金) 秋休み・みこころ祭 | 19日(水) 1st 感ずべき御母の祝日行事 |
| 7日(土) みこころ祭 | 20日(金) 感ずべき御母の祝日 |
| 9日(月) スポーツの日 | 27日(金) 保護者静修会 (10:30～・SBHにて) |
| 10日(火) 後期始業式
身体測定・3,4限平常授業
防災引き取り訓練 (1、3、5年) | 31日(火) 3限まで授業 入試準備 |